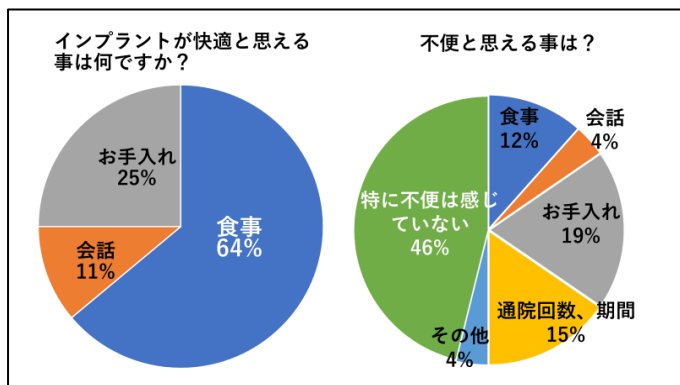
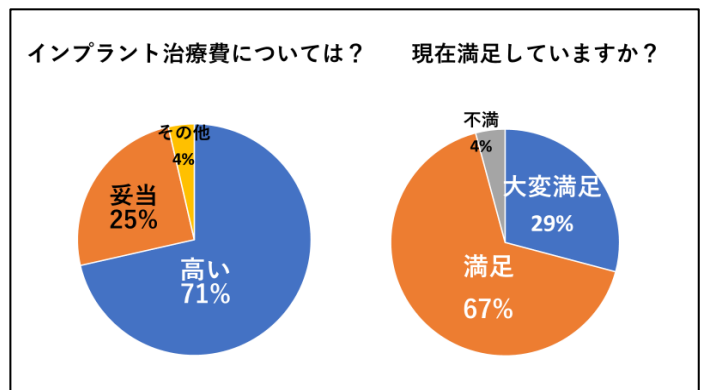
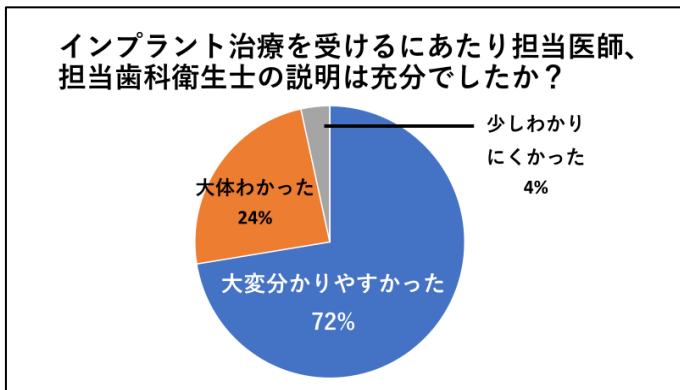
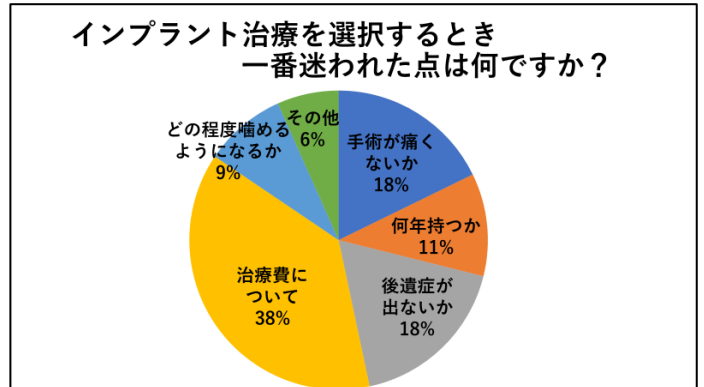
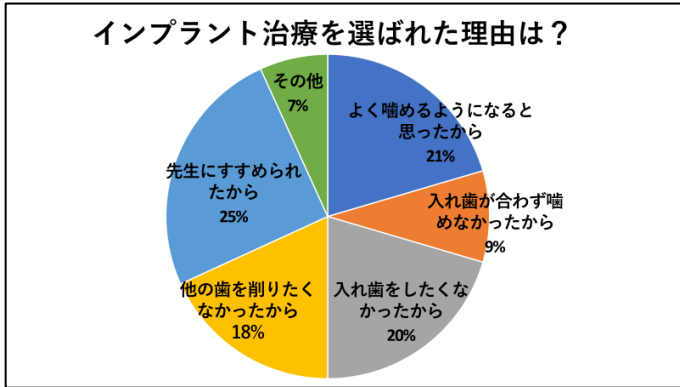




2月17日(土)第20回院内研究発表会が行われました。これは、各部署で臨床研究を行い、よりよい医療に繋げるために、病院内で情報共有を図る目的で毎年行われています。今回歯科では「インプラント治療を始めて4年間の取り組み」ということで、インプラント治療を受けられた方にアンケート調査を実施し、今後も「安心、安全なインプラント治療」を患者様に受けていただけるように、課題・改善点を検証した研究を発表させていただきました。

今回はその研究内容を紹介させていただきます。(アンケート調査の結果は一部抜粋です。)



アンケート調査の結果から

インプラント治療の選択理由は、「入れ歯」に関することや、「しっかり噛めるようにしたい」という願いが多い事が分かりました。そしてインプラント治療後、入れ歯の煩わしさがなく、快適に食事を取ることが出来ることから、治療費は高額で迷ったが、「やってよかった」と満足のいく結果が得られました。

今後への課題、改善点

お手入れについて、入れ歯の様に着脱しなくても良い為、お手入れが快適という意見もありますが、不便さを感じているという意見もありました。自分自身の歯を磨く時も、歯ブラシだけでは補えないのはインプラントも同じです。使いやすい道具を選択し、継続使用が出来るよう、患者様と相談しながら決めていくようにし、清掃方法等の冊子をお渡しするように改善します。

将来介護が必要となり、自分自身で清掃困難になっても「インプラントの歯の部分の形態を変え、介護者が清掃しやすい状態に変え使用できる」ことの説明を行い、長期使用出来ることの理解を深めることが必要だと感じました。

今回研究発表を行うにあたり、年末年始のお忙しい中アンケート調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。感謝いたします。

私たち歯科スタッフの歯科衛生士は、これからも患者様の健康を お口の中からお手伝い出来るよう、知識、技術向上を目指していきたくと思っています。

島田美香

